

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大手前大学
設置者名	学校法人 大手前学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
総合文化	総合文化	夜・通信	—	—	17	17	13	
メディア・芸術	メディア・芸術	夜・通信		—	24	24	13	
現代社会	現代社会	夜・通信		—	16	16	13	
健康栄養	管理栄養	夜・通信		—	28	28	13	
国際看護	看護	夜・通信		—	15	15	13	
(備考) 平成28年4月 健康栄養学部 管理栄養学科 開設 平成31年4月 国際看護学部 看護学科 開設								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページにて公表する。 (通学課程) (通信課程)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大手前大学
設置者名	学校法人大手前学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人大手前学園ホームページ内「学園データ→大手前学園の組織」および「情報公開→事業報告」において公表している https://gakuen.otemae.ac.jp/about/organization.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2019.4.1～ 2023.3.31	法務
非常勤	企業代表取締役副社長	2018.4.1～ 2022.3.31	地域連携
(備考) 他3名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大手前大学
設置者名	学校法人大手前学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>													
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業開始前年度からWEBを介して作成していただくよう、担当教員に依頼している。本学のカリキュラム・ポリシーを示し、担当教員は「授業目的」「各回の授業計画」の他、「授業時間外学習」「到達目標」「成績評価の基準と方法」などの項目に入力していく。また、通学課程では本学独自の「到達基準」(C-PLATS=社会人基礎力を10の項目に分け、それぞれ到達基準を示したもの)についても入力を依頼している。入力された内容については、通学課程では各学部長及び各メジャー主任、教務課が、通信課程では現代社会学部長と通信教育部長、通信教育部事務室が確認する。</p>													
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>大学ホームページで公表する。 (通学課程) http://sb.otemae.ac.jp/syllabus/SyllabusSearch.aspx (通信課程) https://dec.otemae.ac.jp/curriculum/syllabus.html</p>												
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>													
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価については、「A」「B」「C」「D」及び「F」の5段階によって評価し、「A」「B」「C」又は「D」の評価を得たものについては、所定の単位が与えられる。成績の評語と意味は次のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="328 1512 967 1740"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>意 味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>特に優秀な成績</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>優れた成績</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>一応その科目の要求を満たす成績</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>単位が与えられる最低の成績</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>不合格</td> </tr> </tbody> </table> <p>学生に対しては、配布している冊子「履修ガイド」(通学課程)、「学生便覧」(通信教育課程)で成績評価について示すとともに、各種ガイダンスにおいても周知を図っている。</p> <p>また、シラバスには「成績評価の基準と方法」の項目を示し、通学課程では記入する担当教員に「試験、小テスト、レポート等の提出物、発表等、評価方法及びそれぞれの評価配分(%)並びに各成績評価(A、B、C、D、E、F等)の基準を明記してください。また、</p>		評語	意 味	A	特に優秀な成績	B	優れた成績	C	一応その科目の要求を満たす成績	D	単位が与えられる最低の成績	F	不合格
評語	意 味												
A	特に優秀な成績												
B	優れた成績												
C	一応その科目の要求を満たす成績												
D	単位が与えられる最低の成績												
F	不合格												

<p>授業への出席は常であることが前提のため、出席は評価方法には含めないでください。」と依頼している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>5段階の成績評価に以下のとおりグレードポイントを付し、履修した授業科目の単位数にこのポイントを乗じ、それらの合計を履修登録単位数の総合計で除して算出する。</p> <p>「A」=4、「B」=3、「C」=2、「D」=1、「F」=0</p> <p>なお、通学課程では、特定の学期を対象として算出したものを「学期GPA」、入学時から通算したものを「通算GPA」とし、各学生の担当アドバイザー教員によって、次の履修指導を行っている。</p> <p>ア 学期GPAが1.5未満となった場合には、アドバイザーが学生本人と面談し、注意と指導を行う。</p> <p>イ 学期GPAが2学期連続して1.5未満となった場合は、アドバイザーが学生本人及び保護者と面談し、注意と指導を行う。</p> <p>ウ 学期GPAが3学期連続して1.5未満となった場合並びに通算GPAが1.5未満かつ学期GPA1.5未満が3回に達した場合には、教授会の議を経て退学が勧告される。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>大学ホームページ上で公表する。 (通学課程) (通信課程) 学修管理システム(LMS)上で各学生に公開する。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) (通学課程)</p> <p>卒業については、大学全体及び各学部ごとにディプロマ・ポリシーを作成し、示している。(別紙参照)</p> <p>これらの方針に沿って、修業年限及び各学部、課程で示した卒業要件単位数を学生に対して示している。</p> <p>① 修業年限</p> <p>卒業するには、4年以上本学に在学する必要があります。ただし、2年次に編入学した者については3年以上、3年次に編入学した者については2年以上となります。</p> <p>大学には、休学期間を除き、8年間(編入学した者を除く。)在籍することができます。この間に卒業要件を満たす必要があります。</p> <p>② 卒業要件単位数等</p> <p>卒業するためには、次の要件をすべて満たした上で、卒業の要件となる科目の中から124単位以上を修得する必要があります。</p> <p>i) 総合文化学部、メディア・芸術学部及び現代社会学部</p> <p>ア 以下の必修科目の単位をすべて修得していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリアデザインⅠ」、「キャリアデザインⅡ」、「キャリアデザインⅢ」及び「キャリアデザインⅣ」 ・「英語Ⅰ」及び「情報活用Ⅰ」 <p>イ 所属する学部(学科)の「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」並びに「卒業研</p>	

<p>究」又は「卒業制作」の単位を修得していること。</p> <p>ウ 所属する学部(学科)の専攻プログラムからメジャー1つ以上を修めていること。</p> <p>ii) 健康栄養学部</p> <p>ア 以下の必修科目の単位をすべて修得していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリアデザインⅠ」、「キャリアデザインⅡ」、「キャリアデザインⅢ」及び「キャリアデザインⅣ」 ・「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「情報活用Ⅰ」及び「情報活用Ⅱ」 ・「応用セミナーⅠ」、「応用セミナーⅡ」、「応用セミナーⅢ」及び「応用セミナーⅣ」 <p>イ 各年次における必修の専攻科目(次号に掲げる科目を除く。)計94単位をすべて修得していること。</p> <p>ウ 「管理栄養士特講Ⅰ」及び「管理栄養士特講Ⅱ」又は「卒業研究」の単位を修得していること。</p> <p>エ メジャー(主専攻)1つ以上を修めていること。</p> <p>オ 入学時からの通算GPAが1.5以上であること。</p> <p>iii) 国際看護学部</p> <p>ア 総合科目から、以下の22単位以上を修得していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必修17単位 ・[グローバル社会と言葉]から「看護のための中国語」又は「看護のための韓国語」のいずれか1単位及び「BasicCommunicationinGlobalContext」又は「Listening&SpeakinginaGlobalSociety」のいずれか1単位の合計2単位・[リベラルアーツ][グローバル社会と文化]の選択科目から合計3単位以上 <p>イ 専攻科目の[専門基礎分野]から必修27単位を修得していること。</p> <p>ウ 専攻科目の[専門分野]から必修73単位を修得していること。</p> <p>エ メジャー(主専攻)を1つ以上修めていること。</p> <p>オ 入学時からの通算GPAが1.5以上であること。</p>																
<p>(通信課程)</p> <p>既修得単位を含め124単位を修得し、以下の修業年限、スクーリング単位数を満たした者は、教授会の議を経て、卒業を認定する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>卒業要件単位数 (うちスクーリング要件単位数)</th> <th>修業年限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年次入学生</td> <td>124単位以上(30単位以上)</td> <td>4年以上</td> </tr> <tr> <td>2年次編入学生</td> <td>124単位以上(22単位以上)</td> <td>3年以上</td> </tr> <tr> <td>3年次編入学生</td> <td>124単位以上(16単位以上)</td> <td>2年以上</td> </tr> <tr> <td>4年次編入学生</td> <td>124単位以上(8単位以上)</td> <td>1年以上</td> </tr> </tbody> </table>			卒業要件単位数 (うちスクーリング要件単位数)	修業年限	1年次入学生	124単位以上(30単位以上)	4年以上	2年次編入学生	124単位以上(22単位以上)	3年以上	3年次編入学生	124単位以上(16単位以上)	2年以上	4年次編入学生	124単位以上(8単位以上)	1年以上
	卒業要件単位数 (うちスクーリング要件単位数)	修業年限														
1年次入学生	124単位以上(30単位以上)	4年以上														
2年次編入学生	124単位以上(22単位以上)	3年以上														
3年次編入学生	124単位以上(16単位以上)	2年以上														
4年次編入学生	124単位以上(8単位以上)	1年以上														
卒業の認定に関する方針の公表方法	学生に対しては本学の学修管理システム(LMS)で、外部に対しては本学WEBサイトで行っている。															

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大手前大学
設置者名	学校法人大手前学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html
収支計算書又は損益計算書	https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html
財産目録	https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html
事業報告書	https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html
監事による監査報告(書)	https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページにて公表 https://www.otemae.ac.jp/about/info.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページにて公表 https://www.otemae.ac.jp/about/info.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 総合文化学部、メディア・芸術学部、現代社会学部、健康栄養学部、国際看護学部、現代社会学部(通信教育課程)
教育研究上の目的 (公表方法：ホームページにて公表)
(概要) 下記URLにて公表している 【通学】 https://www.otemae.ac.jp/files/about/2019_gakusoku_daigaku.pdf 【通信】 https://www.otemae.ac.jp/files/about/2019_tsushinkitei.pdf
卒業の認定に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表)
(概要) 下記URLにて公表している 【通学】 https://www.otemae.ac.jp/about/policy.html 【通信】 https://dec.otemae.ac.jp/about/basic_policy.html
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表)
(概要) 下記URLにて公表している 【通学】 https://www.otemae.ac.jp/about/policy.html 【通信】 https://dec.otemae.ac.jp/about/basic_policy.html
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：)
(概要) 下記URLにて公表している 【通学】 https://www.otemae.ac.jp/about/policy.html 【通信】 https://dec.otemae.ac.jp/about/basic_policy.html

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページにて公表 【通学】 https://www.otemae.ac.jp/files/about/h27hyouka.pdf 【通信】 https://www.otemae.ac.jp/files/about/2019_tsushinkitei.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
総合文化	—	13人	8人	1人	1人	0人	23人
メディア・芸術	—	15人	7人	0人	0人	0人	22人
現代社会		13人	6人	3人	0人	0人	22人
健康栄養		6人	4人	3人	0人	0人	13人
国際看護		7人	3人	8人	5人	1人	24人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				209人			209人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページにて公表 http://kg.otemae.ac.jp/gyoseki/japanese/index.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教育内容・教育方法の改善・向上を目的とし、FD委員会主導のもと、講演会・研修会等の実施や、授業内容・方法等に関する研究会の運営等に取り組んでいる。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
総合文化	190人	225人	118.4%	776人	735人	94%	6人	3人
メディア・芸術	180人	222人	123.3%	736人	738人	100%	6人	5人
現代社会	220人	267人	121.4%	896人	919人	102%	6人	5人
健康栄養	80人	82人	102.5%	352人	347人	98%	16人	8人
国際看護	80人	84人	105.0%	80人	84人	105%	—	—
合計	750人	880人	117.3%	3,080人	2,823人	99%	34人	21人
(備考)								
健康栄養学部 平成28年4月開設、今年度完成年度								
国際看護学部 平成31年4月開設、1年次生のみ在籍								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
総合文化	147人 (100%)	3人 (2.0%)	113人 (76.9%)	31人 (21.1%)
メディア・芸術	135人 (100%)	1人 (0.7%)	109人 (80.7%)	25人 (18.5%)

現代社会	159人 (100%)	1人 (0.6%)	131人 (82.4%)	27人 (17.0%)
合計	441人 (100%)	5人 (1.1%)	353人 (80.0%)	83人 (18.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進学先：関西大学大学院 就職先：大和ハウス工業(株)、西日本旅客鉄道(株)、兵庫県教育委員会 他				
(備考)				
平成28年4月 健康栄養学部 管理栄養学科 開設のため卒業生実績なし				
平成31年4月 国際看護学部 看護学科 開設のため卒業生実績なし				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
シラバス作成に関しては依頼時に本学のカリキュラム・ポリシーを示し、担当教員は「授業目的」「各回の授業計画」の他、「授業時間外学習」「到達目標」「成績評価の基準と方法」などの項目を入力していく。また、通学課程においては本学独自の「到達基準」(C-PLATS=社会人基礎力を10の項目に分け、それぞれ到達基準を示したもの)についても入力を依頼している。入力された内容については、学部長及び各メジャー主任が確認のうえ、学生に対して本学の学修管理システム(LMS)で、外部に対しては本学WEBサイトで公開を行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)												
(通学課程)												
学習成果にかかる成績評価については、「A」「B」「C」「D」及び「F」の5段階によって評価し、「A」「B」「C」又は「D」の評価を得たものについては、所定の単位が与えられる。成績の評語と意味は次のとおり。												
<table border="1"> <tr> <th>評語</th> <th>意味</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>特に優秀な成績</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>優れた成績</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>一応その科目の要求を満たす成績</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>単位が与えられる最低の成績</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>不合格</td> </tr> </table>	評語	意味	A	特に優秀な成績	B	優れた成績	C	一応その科目の要求を満たす成績	D	単位が与えられる最低の成績	F	不合格
評語	意味											
A	特に優秀な成績											
B	優れた成績											
C	一応その科目の要求を満たす成績											
D	単位が与えられる最低の成績											
F	不合格											

学生に対しては、配布している冊子「履修ガイド」で成績評価について示すとともに、各種ガイダンスにおいても周知を図っている。

卒業については、大学全体及び各学部ごとにディプロマ・ポリシーを作成し、示している。（別紙参照）これらの方針に沿って、修業年限及び各学部で示した卒業要件単位数を学生に対して示している。

① 修業年限

卒業するには、4年以上本学に在学する必要があります。ただし、2年次に編入学した者については3年以上、3年次に編入学した者については2年以上となります。

大学には、休学期間を除き、8年間（編入学した者を除く。）在籍することができます。この間に卒業要件を満たす必要があります。

② 卒業要件単位数等

卒業するためには、次の要件をすべて満たした上で、卒業の要件となる科目の中から124単位以上を修得する必要があります。

i) 総合文化学部、メディア・芸術学部及び現代社会学部

ア 以下の必修科目の単位をすべて修得していること。

・「キャリアデザインⅠ」、「キャリアデザインⅡ」、「キャリアデザインⅢ」及び「キャリアデザインⅣ」

・「英語Ⅰ」※1 及び「情報活用Ⅰ」

イ 所属する学部（学科）の「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」並びに「卒業研究」又は「卒業制作」の単位を修得していること。

ウ 所属する学部（学科）の専攻プログラムからメジャー1つ以上を修めていること。

ii) 健康栄養学部

ア 以下の必修科目の単位をすべて修得していること。

・「キャリアデザインⅠ」、「キャリアデザインⅡ」、「キャリアデザインⅢ」及び「キャリアデザインⅣ」

・「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「情報活用Ⅰ」及び「情報活用Ⅱ」

・「応用セミナーⅠ」、「応用セミナーⅡ」、「応用セミナーⅢ」及び「応用セミナーⅣ」

イ 各年次における必修の専攻科目（次号に掲げる科目を除く。）計94単位をすべて修得していること※2。

ウ 「管理栄養士特講Ⅰ」及び「管理栄養士特講Ⅱ」又は「卒業研究」の単位を修得していること。

エ メジャー（主専攻）1つ以上を修めていること※3。

オ 入学時からの通算GPAが1.5以上であること。

iii) 国際看護学部

ア 総合科目から、以下の22単位以上を修得していること。

・必修17単位

・[グローバル社会と言葉] から「看護のための中国語」又は「看護のための韓国語」のいずれか1単位及び「BasicCommunicationinGlobalContext」又は「Listening&SpeakinginaGlobalSociety」のいずれか1単位の合計2単位 ・
[リベラルアーツ] [グローバル社会と文化] の選択科目から合計3単位以上

イ 専攻科目の[専門基礎分野] から必修27単位を修得していること。

ウ 専攻科目の[専門分野] から必修73単位を修得していること。

エ メジャー（主専攻）を1つ以上修めていること※4。

オ 入学時からの通算GPAが1.5以上であること。

上記、卒業の認定に関する基準は、学生に対しては本学の学修管理システム(LMS)で、外部に対しては本学 WEB サイトで公表を行っている。

(通信課程)

既修得単位を含め 124 単位を修得し、以下の修業年限、スクーリング単位数を満たした者は、教授会の議を経て、卒業を認定する。

	卒業要件単位数 (うちスクーリング要件単位数)	修業年限
1 年次入学生	124 単位以上 (30 単位以上)	4 年以上
2 年次編入学生	124 単位以上 (22 単位以上)	3 年以上
3 年次編入学生	124 単位以上 (16 単位以上)	2 年以上
4 年次編入学生	124 単位以上 (8 単位以上)	1 年以上

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
総合文化	総合文化	124 単位	有	20～26 単位 (半期)
メディア・芸術	メディア・芸術	124 単位	有	20～26 単位 (半期)
現代社会	現代社会	124 単位	有	20～26 単位 (半期)
現代社会	現代社会(通信)	124 単位	有	42 単位 (年間)
健康栄養	管理栄養	124 単位	有	20～26 単位 (半期)
国際看護	看護	124 単位	有	20～26 単位 (半期)

G P A の活用状況 (任意記載事項)	<p>公表方法：ホームページにて公表 https://www.otemae.ac.jp/files/faculty/guide2018.pdf (通学課程)</p> <p>本学では C A P 制度を導入している。(C A P とは、1 学期における履修登録単位数の上限のことをいう。) 本制度は、各学期における学修計画・生活計画をしっかり立て、目標を適切な範囲で設定し、無理なく着実に単位を修得し、さらにより成績評価を得るための制度である。G P A に基づく履修登録単位数上限の変動学期ごとに履修登録できる単位数の上限 (C A P) は、前学期の G P A により次のとおり変動する。</p> <table border="0"> <tr> <td>原則として</td> <td>20 単位</td> </tr> <tr> <td>前学期の G P A が 2.5 以上 3.0 未満</td> <td>22 単位</td> </tr> <tr> <td>前学期の G P A が 3.0 以上 3.5 未満</td> <td>24 単位</td> </tr> <tr> <td>前学期の G P A が 3.5 以上</td> <td>26 単位</td> </tr> </table> <p>なお、入学時の学期 (編入学を含む。) の C A P は、20 単位です。</p> <p>(通信課程)</p> <p>G P A 制度を用いて、成績優秀者を卒業時に表彰することにより、学生の学修意欲向上に努めている。</p>	原則として	20 単位	前学期の G P A が 2.5 以上 3.0 未満	22 単位	前学期の G P A が 3.0 以上 3.5 未満	24 単位	前学期の G P A が 3.5 以上	26 単位
原則として	20 単位								
前学期の G P A が 2.5 以上 3.0 未満	22 単位								
前学期の G P A が 3.0 以上 3.5 未満	24 単位								
前学期の G P A が 3.5 以上	26 単位								
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	<p>公表方法：ホームページにて公表 https://www.otemae.ac.jp/files/about/2018_daigaku_enquete.pdf</p>								

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： 大学ホームページ [確認方法：インターネット] https://www.otemae.ac.jp/institution/education/ 大学案内パンフレット[入手方法：インターネット] https://www.otemae.ac.jp/request/
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
総合文化	総合文化	780,000円	270,000円	240,000円	施設設備整備費
メディア・芸術	メディア・芸術	780,000円	270,000円	240,000円	施設設備整備費
現代社会	現代社会	780,000円	270,000円	240,000円	施設設備整備費
現代社会	現代社会 (通信教育課程)	316,000円	30,000円	24,000円	在籍料
健康栄養	管理栄養	860,000円	270,000円	390,000円	施設設備整備費 他
国際看護	看護	1,000,000円	270,000円	620,000円	教育施設充実費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) (通学課程) 本学では、専任教員がアドバイザーとして学生一人ひとりを担当し、学修その他に関する指導を行っている。アドバイザーは、担当する学生の履修登録、授業への出席状況、成績や就職活動状況などを絶えずモニターし、必要に応じて学生に助言や指導を行う。 年間を通じた指導では、アドバイザーは、担当する学生の学修(出席情報の把握を含む。)を指導し、進路決定や学籍異動(留学・転部・転籍・休学・復学・退学)に関する相談に応じる。 また、学期ごとには、毎学期の履修について助言・指導し、学業成績に基づいて学生本人・保護者と面談する。保護者会においては、保護者からの相談に応じる体制を整えている。
(通信課程) 学習アドバイザーを配置し、学生個々の学修の進捗状況を確認するとともに学修管理システム(LMS)、電話等を介した問い合わせ対応を実施している。また、進路についてはキャリアカウンセラーを配置し、対面、” Web 上での相談を実施している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生が卒業後の具体的なキャリアを構築するための1、2年生向け必修科目「キャリアデザイン」の他、正課科目「職業選択演習」や「インターンシップ」を通じて教育課程を整備している。「インターンシップ」においては、企業等で研修生として働くことを通じて、実際の社会組織での仕事を体験することにより、働くことについての意欲の高揚、職業選択の動機づけを行っている。 また、就職支援においては、就職希望学生の全員を対象として個別に「進路登録面談」を行ったうえで、毎年変化する企業の採用動向を見極めながら、本学の多様な学びに則した多彩な進路決定のための相談体制を敷き、近年の高い就職率を実現している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生の心身の健康等に係る支援を行うために、本学では、「健康相談室」と「学生相談室」を設置し、相談が必要な学生が利用できるようにしている。

「健康相談室」は、さくら夙川キャンパス・いたみ稲野キャンパスに各々設置しており、授業期間中の毎週月～金曜日の 9:00～17:00 に開室、健康相談および救急処置等に応じている。

学生には春の新学期開始時の各学年毎のガイダンス時に説明・資料を配布し、少しでも身体の異常、苦痛、不安等を感じたら、一人で悩むことなく気軽に来室する様、促している。

「学生相談室（カウンセリングルーム）」も、さくら夙川キャンパス・いたみ稲野キャンパスに各々設置しており、授業期間中、並びに相談者の状態に応じて長期休暇中も相談対応している。

学生には「健康相談室」の案内同様、ガイダンスで説明・資料を配布している。

また、健康管理については、学校保健法第 6 条に基づき、学生の結核その他の「定期健康診断」を毎年 1 回実施、必要に応じて各科専門家医の紹介も行っている。

尚、大学指定医療機関は以下の通り。

笹生(さそう)病院

診療科目

外科・内科・脳神経外科・整形外科・麻酔科・放射線科・理学診療科

西宮市弓場町(ゆみばちょう) 5 番 37 号

吉江胃腸科・外科

診療科目

内科・外科・胃腸科

伊丹市稲野町 1-111

甲南回生 松本クリニック (大学学校医)

診療科目

内科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科

芦屋市三条南町 13-16 ソレイユ芦屋 3F

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページにて公開

<http://kg.otemae.ac.jp/gyoseki/japanese/index.html>